

第1回 都市自治体とコミュニティの協働による地域運営に関する研究会 議事概要

日 時：平成26年7月11日（金） 10:00～12:00

開催場所：日本都市センター会館7階 703会議室

出席者：名和田座長（法政大学）、乾委員（立命館大学）、進邦委員（杏林大学）、柴田委員（神奈川大学）、金野委員（鶴ヶ島市）、廣瀬委員（茅ヶ崎市）、本村委員（宮崎市）

鳴田理事・研究室長、木村副室長、柳沢研究員、石田研究員、三浦研究員

議事要旨：論点整理、現地調査項目・現地調査先について議論した。

1 論点整理

(1) 論点1（都市自治体とコミュニティの協働の現状と課題）に関する議論

- ・「コミュニティ」の定義をはっきりさせないと議論が拡散してしまう。
- ・コミュニティにより、協働、参加など何をめざすのか、目的、狙いなどを出し合っ
て一致させていく必要がある。
- ・住民が参加しやすい工夫をしている自治体の調査をしたい。
- ・コミュニティについて、自治会・町内会などの旧来の組織をメインととらえている。
さまざまな主体が参加するコミュニティというのは、新たな地域コミュニティと
いった形で使い分けている。

(2) 論点2（コミュニティを制度の枠内で位置づけることの意義）に関する議論

- ・コミュニティを制度化して、うまくいっているという声は多いが、どのように評価
しているのか。そろそろ都市内分権への評価を議論する時期に来ている。

(3) 論点3（コミュニティ活動の持続のための取組み）に関する議論

- ・地域コミュニティには地域の中で何かを実行する力と、地域の人々の思いを吸い上
げ、束ねて、寄り添うという力の2つがある。後者は、自治体に期待される力だが、
規模的に難しいため、範囲を小さくするとやりやすいというのが都市内分権のも
う1つのロジックではないか。
- ・法人化というのは、地域自治組織そのものを法人化するという例とその地域が必要
としている事業の一部を切り出して法人化するという例がある。多様な手法があ
ると理解した方が良い。
- ・継承性があるかとか、次の人が育っているかとかいう話を考えるときには、本当は
その内容を問わなければいけない。
- ・地域で課題を解決するために財源をどう確保しているのか、この課題も議論したい。

(4) 論点4（地域をつなぐ人材の確保と育成）に関する議論

- ・うまくいっている地域には強いリーダーシップを持つ人がいることが多い。「リー
ダーの固定化」を問題とするのではなく、どんなリーダーがあり得るのかを問う
必要がある。
- ・リーダーを交替させられるかどうか（ガバナンスの）問題。

- ・論点3とも関わるが、リーダーの後継者が育たず、活動が停滞する問題がある。
- ・協議会組織の事務局をどう設置するか、運営費などを交付金に含めるか、スペースをどうするかなどは重要な論点だ。
- ・事務局の仕事を有償にできるかどうか、その財源をどうするか、そもそも有償化が望ましいかなどの議論がある。
- ・有償化されたものはやりたいが、無償のものはやりたくないという話がある。このため、やはり無償でないといけないという議論になるが、継続性を考えると、無償のままでは難しいと考えている。
- ・リーダーやコーディネーターといった人たちのスキルや専門性をどう考えるかということも必要だ。
- ・海外では、自分の専門能力を登録し、必要な時にだけまちづくり団体から声がかかるというシステムがあった。日本でも同様の事例があるのか。
- ・地元に住んでいる専門家を活用している事例は多いが、人材バンク制度のように系統的にやっているという話はあまり聞かない。
- ・子どもをどうやって地域とつなぐかは大きな課題である。今の子どもたちは、地域へのかかわり方がわからないでいる。
- ・参加や協働に関して子どもたちに教育するという視点があるといい。

2 現地調査項目の整理

- ・各自治体の考えるコミュニティとは、何かを問うべきである。
- ・協議会型住民自治組織の制度化は、既存組織や役所内から「屋上屋」を架すのではないかと指摘されている、どうやって理解してもらっているかをヒアリングしたい。
- ・制度を作った場合、その成果をそれぞれの自治体が何を持ってそれを評価していくのか（参加者数、イベント件数など）、自治体としては答えにくいだが、調査項目として興味がある。
- ・制度化をして行政が型をつくると、地域の主体性が削がれるという危惧がある。
- ・法人化や地域の中心となる人材の有無をいきなり質問されても、答えられない自治体もある。問題点と必要性から先に質問をする必要がある。

3 現地調査先の検討

- ・資料に記載されているほかにも、良い事例があれば挙げていただきたい。
- ・東日本の候補地が少ないのは、都市内分権は西高東低と言われているためかもしれないが、もう少し事例を探した方が良い。

4 その他

- ・次回開催日時を8月6日（水）15時から17時とした。

（文責：事務局）